



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

92.9.10 No.3654

『第15回定期委員会』報告

青年部運動の大飛躍を!

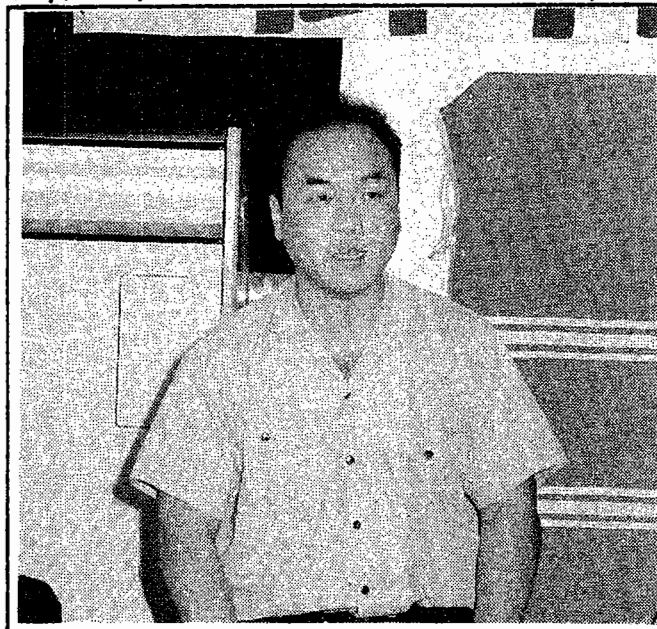
青年部は、九月五日から六日にかけて、延べ百名以上の青年部員が結集する中、第一五回定期委員会を国民宿舎一宮荘に於いて開催しました。

委員会では、われわれを取り巻く激動と混迷を深める情勢をキツキツに確認し、各支部より提起された、「PKOに反対する決議」「強制配転者の原職復帰ヘストライキで闘う決議」にあるように、この秋の反戦闘争、この間の懸案事項であった配転者の原職復帰ヘ闘うこと、そして「全員の討議と行動で、次代の動労千葉をしっかりと立つ、青年部運動の大飛躍をしっかりとろう!」を合言葉に、向こう一年間、動労千葉の最先頭で闘うことを確認しました。

また、会議の中では、36協定に関して、貨物合理化との対決、賃金や昇給・昇格の問題、組織破壊絡みの転勤の攻撃と闘うこと、青年部が物販に最先頭で決起し、それと結合してPKO反対のネットワークをつくる全国オールドと闘うこと、などなど、沢山の意見や質問が出されました。青年部は、様々な課題にアタックし、敵の攻撃を打ち破る迫力を持って、一人ひとりがハラを割って話し合い、俺たちの手で運動をつくることを確認した。



(青年部の先頭でがんばる 佐藤 青年部長)



家族会

第一二回連続講座開催

九月六日、千葉市社会センターにおいて、動労千葉家族会、第一二回連続講座が開催されました。今回の講座には、家族会員やその友人、子供たちも参加して、アニメビデオ「風が吹くとき」を鑑賞しました。

日々にも変わることなく生活していても実際には着々戦争への秒読みが密かに行われ、ある日ラジオから「あと三分で核ミサイルが爆発する・・・」と放送。閃光、爆風が全てを焼き払い、主人公の老夫婦も放射能に侵され衰弱していく、という戦争―核の恐ろしさ

九二年度役員体制

青年部長	佐藤 正和	新小岩
副 "	吉野 道夫	京 葉
書記長	関 道利	総 武
常任委員	岩井 篤	新小岩
"	江沢 英樹	幕 張
"	鈴木 真司	千 葉 転
"	鈴木 康弘	館 山
"	永井 一代	銚 子

を題材にしたものでした。

ビデオ上映後は、参加者の間で懇談を行い、「本当に戦争になったら恐ろしい」「子供たちを戦争には出したくない」など、戦争政策には反対しなければならぬことを胸に刻みこみ、講座を終りました。

日本は今ふたたびアジアへ向けて自衛隊の出兵を強行しようとしています。これを許したらはてしない拡大解釈と強権で侵略が行われることになりました。そうならぬためには戦争政策には反対していかねばなりません。